

## グリーンツーリズムの活動について

箕輪町で行っている「グリーンツーリズム」事業をより良いものとしていくために、『人』と『人』との交流を通じて町の魅力をお伝えいただけるグリーンツーリズム推進員を募集します。「慣れ親しんだ地元に来てくれる都市圏の方々に『来てよかった』と思ってもらいたい！」そんな情熱をお持ちの方、大歓迎です！！ここでは平成 28 年に企画・実施した「日帰り農業体験」について紹介させていただきます。

### 田んぼ体験

田んぼ体験は①田植え②稲刈り・はぞかけ③脱穀の 3 回構成で、自分で植えた苗がやがてお米になるというストーリー性があります。季節により移り変わっていく田んぼの風景は地元の人々にはいつもの光景かもしれませんが、普段田んぼに接することが少ない都市圏の人々にはそれが新鮮なものとして目に映ります。



作業を終えると「土手お茶会」と称して参加者とスタッフで交流会を行います。地元では慣れ親しまれているお漬物やごはんなどをお供に交流を楽しみます。参加者にはこのようなのんびりした雰囲気と心地よさを感じてくださっています。普段の食卓に並ぶ前の状態を体験することで食べ物のありがたみを再認識したという声もいただいています。

### やさい畑体験

やさい畑体験も 3 回の実施で①夏やさいの種まき②夏やさい収穫、秋やさい・長岡の赤そば畑の種まき③秋やさいの収穫と赤そば畑を見ながらの土手お茶会という内容でした。こちらも蒔いた種がやがて家庭でいつも食べている立派な野菜に育つ姿に驚きながら、収穫を楽しんでいただいています。





ます。

作業後は同様に土手お茶会を開き、交流会での楽しい会話に花を咲かせます。心地よい作業疲れに気持ちいい風、その場でとれたて野菜を食べられる…都会では味わえない感覚で、参加者には大変満足いただいています。地元では当たり前の環境が、都市圏の人々にとってはある種の贅沢で魅力的なものだということに気付かされ

共通して伝えていきたいことは「食べ物や自然のありがたみ」です。当たり前のように並んでいる食べ物は、いろいろな過程を経てやっとその姿になるということ。案外忘れがちです。その一部を体験していただくことで、ありがたみを改めて感じてもらい、満足していただけるよう活動しています。また、実際に足を運んでみることで気付かされる箕輪町の雄大な自然の魅力を感じてもらい、「その場限りでない」交流を深めていくということも目指しています。

日帰り農業体験は「グリーンツーリズム推進協議会」と北部営農組合や東箕輪営農組合の方々にお手伝いいただきながら進めてきました。今後、より活発な活動とすべく、みなさんの力を必要としています！少しでも興味が湧いたらぜひ声を掛けてください！推進員として参加者と一緒に交流を深め、都市と農村との架け橋を『あなた』の情熱で伸ばしていきたいませんか。